

人口の動き

10月1日現在	37,566人
総人口	18,529人
男	19,037人
女	(+517)
(昨年同月)	
世帯数	9,637戸
(昨年同月)	(+235)
住民登録人口より	



華やかに広がる
善意の輪

としておくとべんりです。

民踊クラブ発表会

文化の日を前に十月二十四日、中濃体育館で太田町婦人会の民踊クラブ発表会が開かれました。これは歳末同情操金運動として行われたもので、集まったお金は市社会福祉協議会を通じ、恵まれない人たちへ送られます。

広報メモ



十一月は秋から冬への衣替えの季節です。まだ、あたりの様子は秋の気配がいっぱいなのに日さしの弱さ、日の暮れの早さは、そろそろ近づいた冬を思わせます。

「秋晴れ」は十月より、この十一月のほうが多くなるのは、移動性高気圧が十月のころより、さらに発達して、ゆっくり移動するようになるからです。

反対に大陸方面の気圧がしだいに高くなるので、日本海側の地方では気温が日ごとに低くなり、中旬には霜の降る日もあります。

農家の軒先に、赤く熟したカキがめだつこのごろ、秋もいよいよ深まったことを告げているようです。十一月は霜月(しもつき)、季節は晩秋から初冬へと移っていきます。寒くなると血圧があがるといふ方も多いようです。血圧は体温と同じように、その人の平均的な最高と最低が健康の目安になっていますから、一度ご自分の健康状態の基準をしらべておくといでしょう。

市長選・今月30日が投票日

悔いのない一票を

任期満了にともなう市長選挙は、11月20日に告示され、30日が投票日と決まりました。この選挙は私たち市民の意志を今後4年間市政に反映させる大切な選挙です。有権者のみなさんは、住みよい郷土をつくるため、よく見、よく聞き、よく考えて、悔いのない一票を一人も棄権せず投票いたしましょう。

投票時間は、午前7時から午後6時までで、開票は選挙当日、午後7時から中濃体育館で行われます。

▷不在者投票 投票日に旅行、仕事、結婚式などのため投票に行けない人は、11月20日から投票日の前日までに市役所または各連絡所（土曜日の午後と休日は市役所）で行ってください。印鑑をお持ちになれば投票できます。

▷投票所の一部変更 今回の選挙から太田町の一部で投票所が変更になりました。大縄手、官舎、北一東・中・西のみなさんは、「たから幼稚園」が新しい投票所となります。

▷立候補予定者説明会 市長選挙の立候補予定者説明会を、11月14日午後1時から市役所第二会議室で行います。なお、当日立候補関係用紙を配布します。

選挙法改正

花輪や香典・祝儀も違反

受け取った有権者にも罪

「金のかからない公正な選挙」をめざして大幅に選挙法が改正され、十月十四日から施行されました。主な改正内容は、次のようすが中でも、すでにチラシ、新聞などでもご存知のように政治家や候補者などは選挙に関係があるなしにかかわらず、また時期を問わず選挙区内の者（親族は除く）に対して一切の寄付が禁止されました。これを守るには、政治家などの

自覚はもちろんのこと、有権者も一切の寄付は求めない、受け取らないというき然たる態度を習慣づけたいものです。

改正のおもな内容

▽衆議院議員の定数改正 議員一人当りの人口が特に不均衡な選挙区の議員定数が一部改正され議員総定数が五百十一人（二十人増）となりました。

▽衆議院議員の定数改正 議員一人当りの人口が特に不均衡な選挙区の議員定数が一部改正され議員総定数が五百十一人（二十人増）となりました。

▽供託金引上げ 供託金が各選挙とも約三倍引き上げられました。（市長選挙は八万円から二十五万円、市議は五万円から十万円）

▽後援団体などの政治活動用看板 ポスターの規制 後援団体および候補者などが政治活動のために使用する事務所の看板、立札はその数が制限され、また、ポスターはベニヤ板、プラスチック板などを用いては掲示できないことになりました。

▽候補者などの寄付の禁止 政治家や候補者などは、当該選挙区内の者に対して通常一般の社交として行われる寄付を含め、選挙に関係あるなしにかかわらず、また時期やいかなる名義を問わず、次のようなことは法律で禁止されました。

- ・出産、入学、卒業のお祝い品やお祝い金
- ・団体旅行の寄付や差し入れ
- ・結婚のお祝い金やお祝い品
- ・お中元やお歳暮
- ・落成式や開店祝いの花輪
- ・お祭りなどの寄付、お酒など
- ・お葬式の香典、花輪、供花
- ・旅行の饅頭
- ・食事やおみやげ
- ・集会などの飲食代などです。

これにより、有権者も寄付を勧誘したり、また受けとることは法律違反になります。

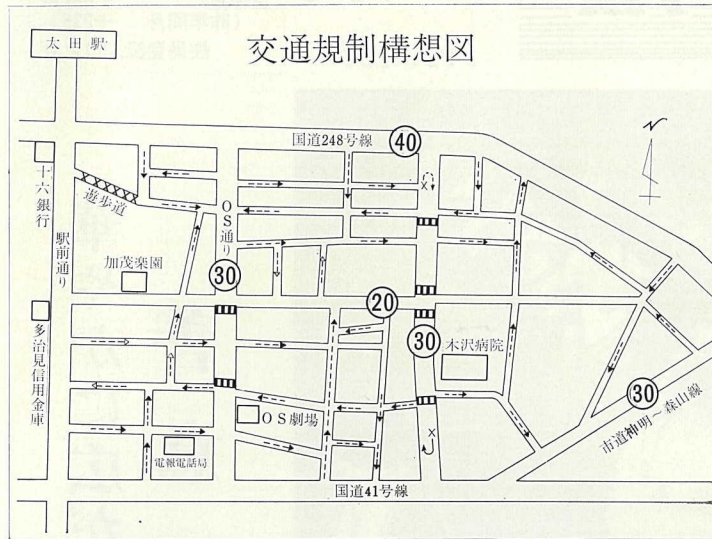
このほか、衆議院の解散に関し候補者などの氏名が入った電報や郵便により選挙人にあいさつする行為の禁止とか、一般の新聞誌の配布方法、機関誌の号外などについても規制されました。

生活道路を、車から子どもや老人などの「交通弱者」の手にとりもどそうと、このたび太田町と下古井の一部に「生活ゾーン」が設定され、その説明会が十月十七日産業文化会館で開かれました。

この日、地元からは自治会、商工会、PTA、交通安全協会などから代表者五十人が出席、加茂署、市から設定の意義を聞いたあと、今後実施される交通規制に対する意見、要望を活発に述べました。

悪質な路上駐車を追放

美濃太田駅前通りの東区域に設定



生活ゾーンとは住宅地域、商店街、その他日常生活が営まれる地域内から交通事故、交通が原因となる障害をなくし、子どもや老人などいわゆる「交通弱者」を保護するもので、主婦や買物客など住民が安心して生活できる区域のことです。

交通事故を防止

市で最初に生活ゾーンが敷かれたのは、駅前通りから東、国道二一と二四八号に囲まれた三角区域（面積約一平方キロ）で、この設置は県下のトップを切って実施されました。

設置の目的には加茂警察署管内が県下でも交通事故の多発地帯であることから、これらを防ぐ人命尊重と生活道路の確保（安全）自動車の排気ガス、騒音による生

活環境の保全（無公害）、交通渋滞の激化による都市機能低下の防止（円滑）の三つがあり、そのひとつとして路上駐車の追放なども行われます。

交通規制の実施

この生活ゾーンに対する具体的な方策として、すでに市道大堀（西後線）通称OS通り、塚原（石塚線）（木沢病院横通り）の30キロ規制と、五つの横断歩道が新設されました。このほか人と車の分離を基本に歩道やガードレールの設置、一方通行や進入禁止の交通規制が行われることになっています。

地元の意見を尊重

説明会では交通規制の構想（図参照）が示されましたが、関係者の間からはこれに伴う駐車場の問題、道路幅員の拡幅など多くの要望が出され、市では今後交通規制を実行するにあたっては地元の意見をしっかりと尊重し、生活ゾーンがもつ効果が現れるよう会議を進めていく方針です。

お知らせ

県民手帳の
予約受付中

岐阜県統計協会では昭和51年版県民手帳を発行し、次により予約受付をします。
この手帳は日記と県内の姿が一目でわかる各種統計資料、くらしに役立つ便利な知識がわかりやすく集録されています。
なお、この手帳は一般に市販されていません。
料金は一部 160円で申込み期限は11月15日までです。
ご希望の方は各連絡所、または市秘書企画課企画開発係（電話二一―一内線三二五）まで申し込んでください。

市民と市長の面談日

11月6日（木）
14日（金）
午前9時～12時

市総合体育大会

今月3日から開催

次により第11回市総合体育大会を開きますので、参加希望者は10日までに申し込んでください。

- ▽軟式野球（3日・16日）――一般（各町チーム）
 - ▽卓球（16日）――家庭婦人（フリー）
 - ▽剣道（30日）――一般（各町対抗・個人戦ともフリー）
 - ▽バレーボール（16日）――一般男子・女子（各町チーム）
 - ▽ソフトボール（16日）――一般男子・女子（各町チーム）
 - ▽弓道（9日）――一般（各町対抗・個人戦ともフリー）
 - ▽スキー（1月中旬）
 - ▽市民ロードレース（2月下旬）
 - ・参加申込み 申込用紙が各連絡所（太田町は中濃体育館）にありますので、所定の用紙で申し込んでください。
- 剣道少年団の
団員を募集
剣道をスポーツ少年団でやってみようと思われ小学3年以上の方、ただ今団員募集中です。ので申し込んでください。
・締切 12月6日（中体まで）

体力づくり

市民総参加

成し、ここを基点とするスポーツの輪は広まって、今や各地区ごとに体育行事が行われ身近でスポーツに親しむ体制もとのつてきました。またグラウンドをはじめとする施設設備の充実も年を追って進みこれを利用する市民側にも今年から体育振興会が発足するなど、スポーツに対する理解も深まっています。



③市民運動会各地区大会

健康で明るい市民生活を送ろうと昭和45年から各地区(町)ごとに始められ、今では地区最大の体育行事となっています。

この大会は毎年10月10日(体育の日)を中心に各小学校で開かれ、レクリエーション的な種目も多くあって、子どもから老人までが楽しむことができます。



④なわとび運動

全身を使いつつも簡単にできることから、体力づくりにはもってこいの種目で、小学校では体育の時間に取り入れられています。とび方には、あやとび、交差とび、二重まわしとびなど、あって技術も要し、継続してとぶ時間により判定もされます。

⑤市総合体育大会

野球、卓球、庭球など十二種目にわたり技を競う市最大の体育行事で、今年で十一回を迎え毎年約二千名が参加します。



フットボール大会には六二チームが出場しました。さらに昭和四十七年に中濃体育館が完成したことにより、ここを拠点としたスポーツ活動は一層高まり、同年市教委に体育課(指導課)が設置され、数多くの各種体育大会が開かれるようになったりさらにこれに関連したスポーツ教室が開かれたりして、開館三周年を迎えた今日までにスポーツで利用した人は十二万人を数えます。

このスポーツ教室は、おもに初心者を対象に開かれ底辺の拡大に役立っているほか、サーキットトレーニング室を利用したり、定期的に体力テストを実施し市民の健康管理にも力を注いできました。

また、同年に市が総理府から体力づくり運動推進地域に指定を受け、この地のモデル都市として岐阜県体育大会、オリエンテリング大会①、体力づくり県民大会、なわとび大会④などの諸大会や体操、バレーボールの模範試合、演技会も開かれて、スポーツに対する市民意識の高揚はもたらされました。

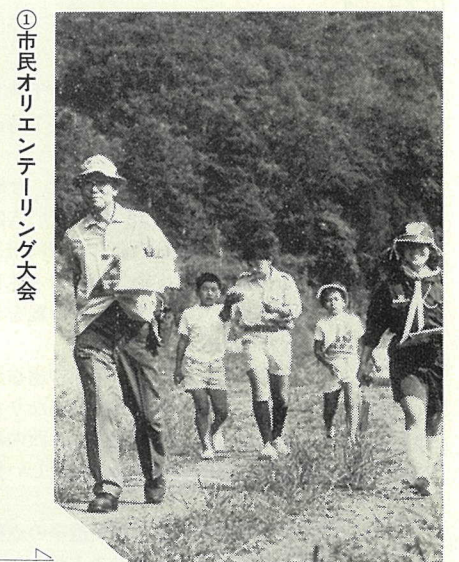
このようにスポーツの生活化が進むなかで、さらに今年から各地区ごとに体育委員らが中心となって体育振興会が発足し、市民の中からも体力づくりに対する新しいムードが盛り上がりつつあります。

(①)~(⑤)は写真参照)

で全国表彰

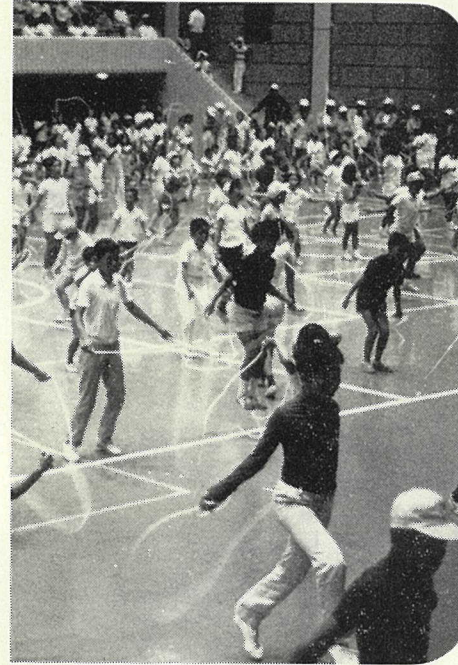
が実を結ぶ

美濃加茂市は十月四日、香川県高松市で開かれた第十七回体力づくり運動推進全国大会で、「体力づくり優秀組織」として国民会議議長表彰を受けました。これは体育活動を推進する市と、体育指導員や委員を中心とした市民の、日ごろのスポーツへの自主的参加が実を結んだものです。四十七年に中濃体育館が完



①市民オリエンテリング大会

自然に親しみながら山野を歩く体力づくり運動で、家族ぐるみで親しむことができます。市には中濃体育館から蜂屋町の丘陵地をめぐる約十キロの「日本ラインバーマネントコース」があり、市民大会も開かれます。



②自治会親善野球大会

昭和四十二年に自治会の団結と相互の親善を深めることを目的として始められた大会で、今年で八回を迎えました。

第一回大会は参加四五チームであったのも、今大会には一〇二チーム(市内一六七自治会)が出場するなど、年々盛んになっています。また、四十六年からはナイター戦もはじまり、試合が進むにつれて応援も増えて熱のこもった好試合が展開されています。



5年間のあゆみ

「生活の中にスポーツを」をスローガンに社会体育活動を推進しようと、昭和四十五年から五十年の体育振興計画を立て、市民の自主的参加のムードを盛り上げるとともに、それに対する施設の充実をはかってきましたが、ここ五年間の歩みをみても体力づくりを目的とした各種の行事は年間四十六を数え、スポーツの生活化は今や市民の生活の中にすっかり根をおろしたようです。以前、市の体育行事といえば、総合体育大会⑤ぐらいであったのも、四十五年に体育指導員、四十六年には住民サイドの代表として各自自治会に体育委員が委嘱され、これらの人たちが中心になって地区別に球技大会、市民運動会③も始まり、従来の市総体にも婦人、少年、成人の部も加えられ、スポーツへの参加層も広まってきました。

四十六年に東、四十七年に西総合グラウンドにナイター施設が設置され、四十九年には前平グラウンドが整備されて、三つの市営グラウンドはシーズンともなれば、野球やソフトを楽しむ人たちがいっぱいとなり、四十二年に始まった自治会親善野球大会②には今回一〇二チーム(全市一六七自治会)が参加し、今年で二回目の家庭婦人ソ

LPガス

発熱量・都市ガスの6倍

わずかの漏れで爆発の恐れ

LPガス（プロパンガス）は、昭和三十年ごろから家庭燃料として急速に普及し、都市ガスのない地域で重要な熱源となっています。昨年の岐阜県の普及状況をみると、県内四十七万世帯のうち四十一万世帯（八七割）で使われています。しかし、普及にしがたい消費者の不注意による事故も増加しており、そこで「これだけは知っておいてほしい」という知識をまとめてみました。

【LPガスの性質】

・空気のは1.5倍の重さがあり、ガスもれすると低い所へたまりやすいためおきています。
・容器の中では液体ですが、バルブを開くと気化して250倍になります。

・無色無臭ですがガスもれがわかるように臭いがつけてあります。
・都市ガスとちがいが無毒ですが、カロリイが高いので完全燃焼をするには、ガスの30倍の空気が必要です。空気が不足すると一酸化炭素が発生する危険があります。
・爆発限界（空気と1.9割、10割の混合）が狭く、わずかのガスもれで爆発する危険があります。

事故の大半が不注意から



消防器の使い方を学ぶ主婦ら（プロパンガス使用講習会）

岐阜県におけるLPガス事故の状況をみると、昭和四十年から四十八年までに169件発生し、19名が死亡しており、このうち約6割が利用者の不注意となっている。毎日の生活に欠かすことのできない燃料となつていますが正しく使わねばなりません。

点火をするときは、まずガスもれがないか臭いをかぎ、マッチをすってコックを開く順で点火をします。炎は空気口の閉閉により調整し、赤火などの不完全燃焼にならないようにしましょう。
LPガスが完全に燃焼するには都市ガスの5〜6倍の空気が必要です。とくに風呂がまや大型湯沸器には排気筒、換気口を設置してください。風呂場での一酸化炭素中毒の多くはこれが原因です。

婦人会が愛の奉仕

国立 岐阜 長良病院へおしめ贈る

「恵まれない人たちに愛の手を」と市連合婦人会では、十月十四日岐阜市長良の国立長良病院へおしめ四千枚を贈りました。
ここは重症心身障害児（者）を収容する施設で、現在、重症児百二十名と進行性筋ジストロフィー患者四十名が入院。このうち重症児のほとんどが自分で用便ができず一日に約四千三百枚のおしめが必要

要となつています。そこで婦人会では何か役立てばと「おしめ一枚運動」を思いつき、九月から始めた結果、約四千枚のおしめが集まりました。十四日は役員ら十八名が長良病院へ行き、このおしめを渡したあと各病棟で庭の草引きや床の掃除をするなど心のこもった奉仕活動をしました。



二千五百枚のおしめを贈りました。市連合婦役員ら（長良病院）

清流

私達が日頃安易に口にしているレクリエーションとは一体どのようなことなのか考えてみると、日々仕事に追われる中で気持ちのやすらぎと憩いを求めることだと思えます。老若男女を問わず共通した気持ちとともに楽しむこと



下米田町 森 範夫

のできる娯楽やスポーツ。たとえば、昨今どの町でも野球をはじめ運動会、ソフトボールあるいはママさんバレーと誰もが楽しめるから、自由に参加し身をもつて体験する楽しさに変わりつつあると思

います。余暇を利用してみんなで軽スポーツを楽しむグラウンドをかけ廻ることは隣人愛を育てる場となり、またスポーツに大切なチームワークや融和の心と明日への英気を養い、心の糧となつて町づくり

老人の健康診査を行います

65歳以上の老人のみなさんが常に健康で明るい毎日を過ごしていただくよう、次により老人健康診査を実施いたしますので、ご受診してください。

▽受診月日 11月10日・15日
▽受診時間 午前中のみ
▽受診場所 市内の内科病（医）院と富加町の桜井・山田医院
三和診療所（11月10・12・14）

今月中に印鑑登録の切替えを

印鑑登録制度が改正され7月1日から11月29日までが印鑑登録の切替期間です。
この期間は、旧条例により届出された印鑑登録が11月30日以降は無効となりますので登録をしないおしめていただく期間です。従前の方法で登録されている方で、まだ登録替えをしていない方は11月29日までに手続きを済ませてください。登録替えをされないで登録証明書が必要なときにすぐ交付できない場合があります。なお、登録の際に申請人が本人であるかどうかの確認をすることになっておりますので、運転免許証など身分を証明するものをご持参の上おかけください。

保母の実態調査にご協力を

国では保育園（所）の保母が出産、病気などで長期にわたり休暇を必要とする場合に代替保母制度を設けて代替保母を派遣しています。
現在、その代替保母を確保することが困難なため、岐阜県保

青色申告の

おすすすめ

10月16日から11月15日までは青色申告の普及期間です。
明るい納税と経営合理化のため、来年からぜひ青色申告をお始めください。青色申告制度には、青色申告控除、みなし法人課税（事業主報酬制度）、青色専従者給与など節税には大へん有利になっています。
帳簿のつけかたや、決算のしかたについてわからない方は、税務署や商工会などで無料で継続して指導もいたしますから、いつでもお気軽にご相談ください。

農地法許可申請

今月10日までに

毎月、農業委員会で審議される農地法許可申請書の提出期限が12月審議分に限って11月10日となります。今年中に審議を必要とされるものについては、早めに市役所農業委員会事務局まで提出してください。

＝ 秋を彩る文化のもよおし ＝

美術展

中央公民館
11月15日から17日まで
絵画、書道、彫塑、工芸、写真など

音楽祭

中濃体育館
11月16日、10時から
市内の小・中・高校
一般の合唱、吹奏楽

老人作品展

中央公民館
11月19日から20日まで
絵画、書道、手芸、わら細工、盆栽、写真など

子ども展

中央公民館
11月22日から23日まで
絵画、彫塑、工作工芸
書写、家庭作品など

中濃体育館だより



月	日	曜	行	事
11	4	火	少年補導員懇談会	
	7	金	手をつなぐ親の会運動会	
	8	土	電気使用合理化講演会	
	9	日	商工会15周年記念会員大会	
	10	月	市総体弓道競技	
	11	火	日本ライン杯卓球大会	
	16	日	子宮ガン検診 (11・17~20)	
	18	火	建設業経営審査説明会	
	23	日	美濃加茂市音楽祭	
	24	月	加茂郡神社関係者大会	
	25	火	可茂地区6人制バレーボール大会	
	30	日	休日を体育館で	
12	2	火	中濃美容師講習会	
	3	水	市長選挙開票事務	
	6	土	税務研修会	
			浪曲と民謡ショウ	
			新日本プロレス	

休館日 12・26日

中部日本O.L大会

- ・日 時 11月23日 午前8時30分
- ・集合場所 山手小学校
- ・問合せ先 中濃体育館 (03241)

水戸浪士の西上



(11)

風雲急を告げる幕末の元治元年(一八六四)水戸藩の急進派は、尊王攘夷を叫んで脱藩し、筑波山に旗揚げをしました。そして、京都に上って自分たちの主張を、一橋慶喜(後の第十五代将軍)に訴えようと、道を中山道にとり、高崎・松本等の藩兵と戦いを交えながら、十一月二十七日、美濃の国へとはいつてきました。

このような混乱の中で、太田代官所は宿役人と相談の上、水戸浪士隊の通過を黙認することにした。本陣の福田太郎八は、林新右衛門をしてこのことを浪士に伝えさせ、浪士たちも槍の穂先に白紙を巻いて、静かに太田の宿場を通過して行きました。

抜き身の槍や刀を手に、沿道の人目を驚かせて通って行きます。岩村藩も苗木藩も手を出せません。尾張藩兵も小牧から北へは進めません。高須藩兵は太田まで来ましたが、恐ろしくなつて鶴沼の大安寺へ退いてしまいました。

招き入れ、一席の宴を催しました。軍旅に疲れた耕雲斎は、よほど嬉しかったのでしよう、自分の大切な兜(かぶと)をお礼に置いていきました。耕雲斎以下四百人近くの隊士が斬罪に処せられたのは、翌年二月のことです。



水戸浪士(武田耕雲斎)から福田家に贈られた「かぶと」

今月の相談

妊婦学級

13日・27日 中央公民館

1時~4時

成人病相談

18日 小山公民館

9時~11時
1時~3時

21日 加茂野連絡所

9時~11時

無料法律相談

12日 産業文化会館

10時~4時

相談範囲 民法、商法、借地借家など民事一般

高齢者無料職業紹介所

11日 市役所 午後1時~3時

心配ごと相談

毎週木曜日 午後1時~4時

中央公民館 秘密厳守

巡回相談 加茂野連絡所(10日)

結婚相談

毎週土曜日 午後1時~4時

産業文化会館 秘密厳守

育児相談(12月)

5日 中央公民館 1時~3時

たばこは美濃加茂市内で買ひましよう

ことしの
目標額 1億円
(昨年実績 8,626万円)



〔ことしの実績〕	〔本数〕	〔市へはいる税額〕
4-9月	5,844万7,300本	4,693万8,810円

たばこ消費税は、あなたがたばこを買われた市町村の収入となり、学校、道路、福祉の大きな財源となりますぜひご協力ください。

たばこ20本で16円06銭が市へはいります。